

2014年3月期第2四半期決算説明会 主なQ&A

- Q 新幹線収入が第1四半期はほぼ前年並みに対し、第2四半期に増収となった理由について。
- A 昨年度末から景気が上向き、第1四半期に対して第2四半期で少し力強さが出てきたと認識している。また、9月は昨年と異なり3連休が2回あり、後半の連休のご利用が好調であったことが、第2四半期の収入を押し上げたと考えている。
- Q 航空機との競合による影響と対策について。
- A 航空会社の増便や昨年の岩国錦帯橋空港開港等により、新幹線のご利用に一定程度の影響があったと考えているが、一方、スーパー早特きっぷといった商品展開などの対策により、影響としては▲7億円に留められていると認識している。スーパー早特きっぷについては、早期購入という条件つきで、かつ席数を列車毎に限定するといったきめ細かい販売を行っており、増収効果が出ていると考えている。下期も増便等競争環境は厳しいものの、様々な営業施策等により上期以下の影響に留めたいと考えている。
- Q 上期の単体の営業費用の実績は前年比マイナスであったにも関わらず、通期計画を据え置いた理由について。
- A 事業年度単位で計画し物件費等の費用を執行するが、鉄道事業は下期に費用が多く発生する傾向にある。上期は若干、費用の出方が遅くなったものの、下期も年初に立てた計画に基づき費用を執行する予定であり、通期計画には変更はない。
- Q 大阪三越伊勢丹の再生の方向性について。
- A 2015年春の再生開業に向けた検討を進めており、年度内には計画をお示ししたい。当社としては、百貨店とSC双方の強みを活かした商業施設の構築について、三越伊勢丹HDと議論を進めているところである。

以 上